

# 秘密基地プロジェクト 大島ハウス

チーム：韃衆（ふいごしゅう） 2020年9月～



ここは、自宅と職場（学校）の往復にプラスワンな3つ目の場所。

一人でのんびりしてもよし。  
仲間と思いを共有し、やってみて、形にする  
もよし。

地域が元気になったり、若者が楽しんでもくれるならと家主さんが家開きをしてくださった場所です。

# 韃衆とは

やってみたいことはあるけど、なんとなく行動に移せない。**きっかけ**さえあればなあ…日常生活を一生懸命過ごすのに精一杯で“**情熱**”なんて言葉忘れたなあ

と思うけど、消えていそうで消えてない小さな**火種**をみんな大切に抱えて生活しています。

その火に風を送り少しずつ大きくすることを目的にした者達が“**韃衆**”と名乗り、社会の片隅で古（いにしえ）より活動してきた（秘密ですよ）。

もちろんメンバー同士も互いの姿に韃される毎日です。



# 聴衆 総勢 18名

- 幹事7人
- メンバー11人
- イベント参加者延べ100人以上

職業さまざま  
新入社員から中堅社員  
小学生  
定年退職後の方など。



## 2つの活動拠点

- ・大畠ハウス
- ・井仁の棚田

どちらも、戸河内ICを降りて車で約5分です



# 外観



# 大島ハウス MAP



母屋

フリーオフィス、団欒スペース

納屋

キッズスペースなど

川が見える  
カフェスペース

畑  
野菜づくり

フリースペース

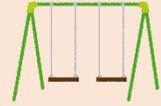
技術伝承・交流

キャンプ、茶会等のイベント



遊具

花壇など



川へ続く道

川



2000年「広島県環境づくり大賞」受賞。

2015年CNN「Japan's 31 most beautiful places（日本の美しい風景31選）」選定

農業の担い手不足、後継者問題、農地整備の重労働などの悩みを抱えていますが、いにぴちゅ会という地元グループが地域を盛り上げています。

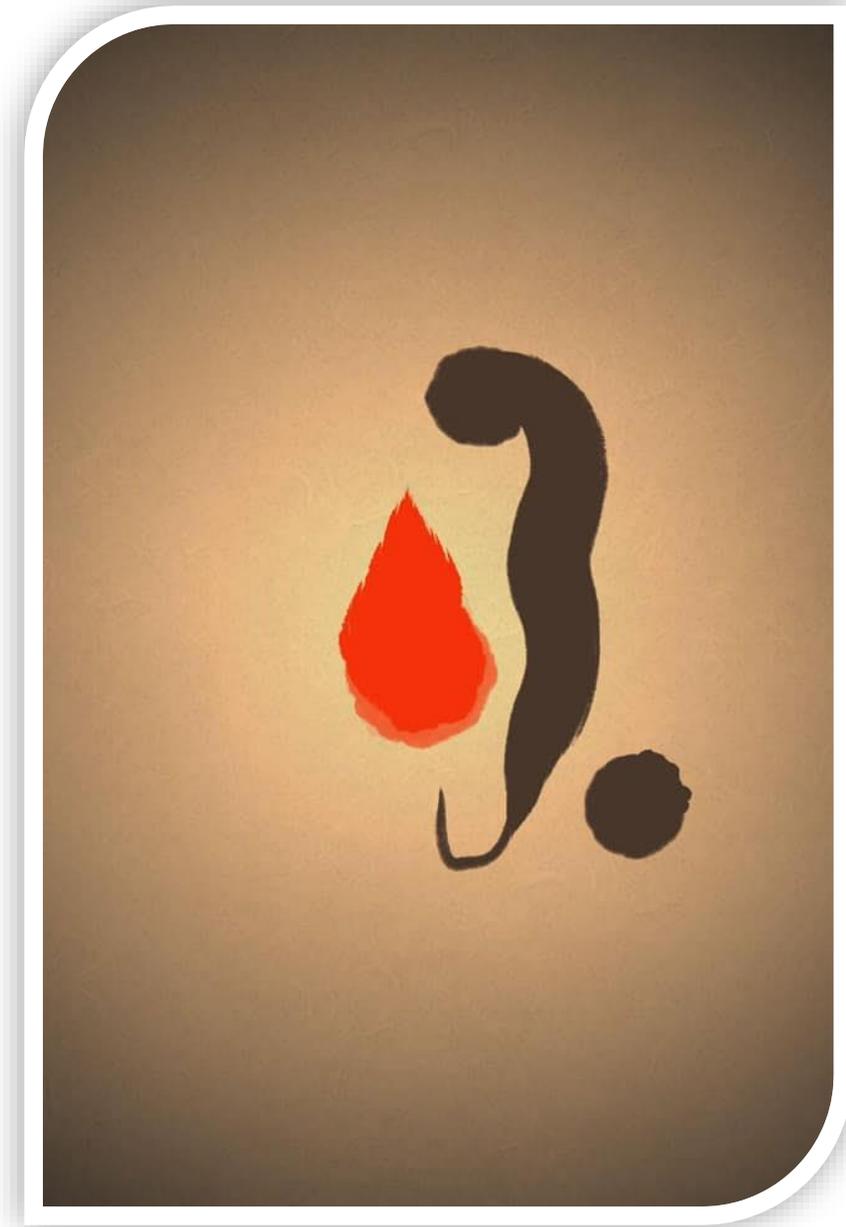
「日本の棚田百選」  
**井仁の棚田**

# 活動目的

---

- ① 空き家を若者の活動拠点に変え、多世代**交流**イベントを通して学びを得る
- ② 先人の知恵から学び、その歴史的背景や技術を**継承**していく
- ③ 若者の発想を創造に変え、地域社会のための**行動**を起こす

副代表の  
高橋です





# 自分らしくいられる場所づくり

アイデアを共有し、力を合わせて形にする楽しさを知る  
ものづくり、自然の中での生活方法を学ぶ  
世代間交流

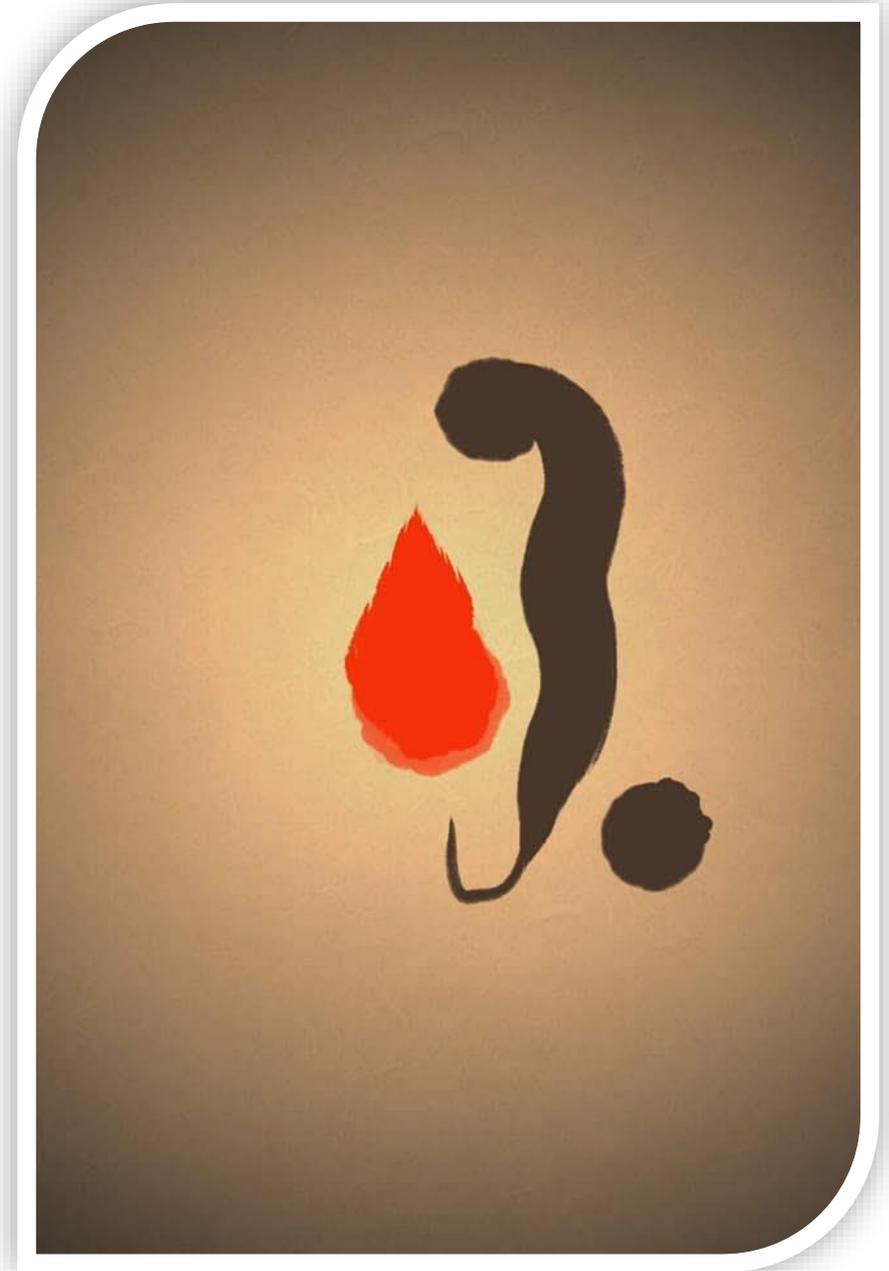
地域への影響を実感し、**自分の生き方**を考える。

例えば、耕作放棄地の整備をする際に、若者に技術伝承したり、地域の人たちがもう一度野菜作りをしたくなるなど活力に繋がる姿を見て、“自分にやれること”を問い直す機会となる

# 活動の目標

---

- ①2025年までに活動拠点を整備し、多世代交流を活発化する
- ②イベントを通して多くの若者を巻き込み、“地域課題”や地域振興”について考え続ける
- ③一人でも多くの若者から“自分らしさ”を見つけ、一歩行動に移す



# 大畠ハウス

## 中期計画

2019年

若者ツナグ  
バ助成金のおかげ様で  
ほぼ達成！



2022年～2023年

宿泊を目指した整備

＜例＞

五右衛門風呂修理、  
ウッドデッキや遊具づくり



2024年～2025年

子どもも大人も楽しめる基地

＜例＞

手仕事を学ぶイベント、星空観察会、サバイバル技術の習得、メンタルトレーニングイベントなど



# 井仁の棚田

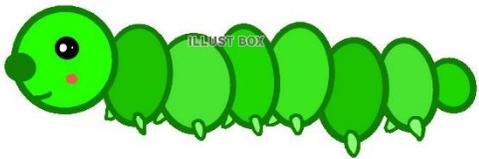
## 中期計画

2019年～2021年

棚田のことを若者にPR  
井仁地区の方々との信  
頼関係構築

＜実績＞

お茶会の実施  
稲刈り・田植えイベントへ  
の参加



2022年～2023年

棚田の観光促進  
住民の方々と共同制作  
＜例＞  
展望パビリオンづくり



2024年～2025年

定期的な多世代交流

＜例＞

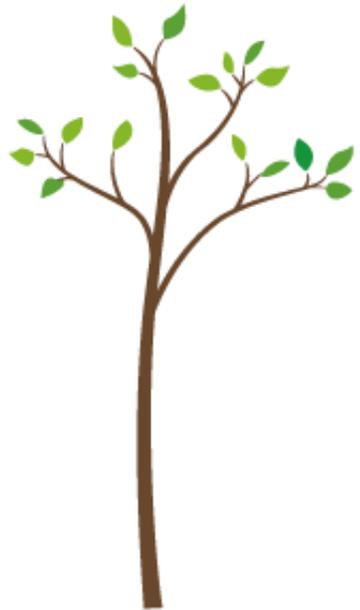
井仁キャンプ場計画  
お茶会等のイベント定期開催





2022年～2023年  
宿泊を目指した整備  
＜例＞

五右衛門風呂修理、  
ウッドデッキや遊具づくり

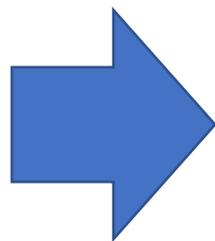


## ・若ツナフェスタの企画ミーティングの場 ・カフェスペースのウッドデッキづくり着手

冬場は雪が深いことやコロナ禍によりスローダウン。春以降は若ツナフェスタの企画に際し、かまどんの試用やイベントスケジュール、名札など備品準備、井仁オリエンテーリング作成などの場として活用しました。イベントを開催するまでには至りませんでした。一方で、フェスタ終了後は川が見えるカフェスペースのウッドデッキづくりに着手。すべての過程をイベント化し、参加者を呼び掛けていく予定です。

大和重工の方が来てくださり、  
かまどでお米を炊いたり、キャベツそのまんま鍋を  
作ったりしてくれました。





このスペースは、地域の方々が「食べ物を持ちよって、食べながら川のせせらぎを聞きながらイベントがしたい」と切望してくださってる場所です。まずはこの場所から整備し、野外イベントスペースとしての機能を高めたいと思っています。



2022年～2023年  
棚田の観光促進  
住民の方々と共同制作  
＜例＞  
展望パビリオンづくり



- ・展望パビリオン 地域の方と話し合い中
- ・竹テント制作
- ・若ツナフェスタにて井仁オリエンテーリングの完成

展望パビリオン制作は、地域の方の中で要望するデザインの意見が分かれており、ただいま継続審議中です。2023年には制作を開始する計画です。

井仁の竹を使った竹テントを制作しました。井仁地区地域おこし協力隊の方と協力しながらおこないました。

若ツナフェスタでは、多くの方に井仁を訪れていただきありがとうございました。今後も観光客向けに活用できるオリエンテーリングの土台ができました。

竹テントづくり  
キッズたちも一緒に山で竹を伐採し、長さを揃える作  
業などを行いました。



制作は、広島市西区の設計士の方が監督してくださいました。  
井仁のもので、井仁でのイベント時に使える手作りのものが出来  
上がりました。地域の方と共に、活発に活用していきます。



# 若ツナフェスタ準備にて（海プロさんと一緒に）



井仁と一緒に回っていただきました。  
イベントのスケジュールなども大島ハウスで  
一緒に打ち合わせをしました。



フェスタをきっかけに井仁を知っていただくオリエンテーリングが完成しました。

地域の人とのミーティング、オリエンテーリングの内容決め、下見などで3か月程度かかりましたが、今後にも残るものができました。

井仁の自治会の方も、今後もイベントでこのオリエンテーリングを使用したいと言ってくださっています。私たち韃衆にとっても今後に向けて大切なコンテンツのひとつになりました。



井仁地区の住職さんが語る井仁の歴史の中から、少しマニアックな内容をクイズにしました。



# 助成金使用報告

合計 173,561円

## 内訳

器具備品	39,748円	(工具セット、竹用のこぎり、ラミネーター外)
材料費	45,612円	(板材、ペンキ、ニス)
	10,000円	(資材運搬ガソリン費)
消耗品	28,201円	(防塵マスク、不織布ツナギ、ブルーシート外)
謝礼	5,000円	(井仁自治会)

# 💰 年度内使用予定 💰

合計 130,000円

※井仁展望パビリオン制作用

## 内訳

器具備品	10,000円	(大畠ハウス 道づくりのための機材)
材料費	50,000円	(道づくり 安全面整備のための資材)
	39,360円	(井仁パビリオン用木材)
	20,000円	(井仁パビリオン用金具、ニスなど)
講師謝礼	10,000円	(大工さんへの謝礼)

# まとめ

まちで生まれたから  
田舎って呼べる場所が  
ないんだよね～って人でも  
大丈夫

合言葉さえ知っていれば  
ここはあなたの田舎です。

いつでもだれとでも集まろう！

